



あいさつ推進、いじめ防止に二役
高道祖小ゆるキャラ「ふじ子ちゃん」誕生

高道祖小学校の「親子ふれあい集会」で11月8日、あいさつ推進やいじめ防止のシンボルとして誕生した、ゆるキャラ「ふじ子ちゃん」が児童や保護者にお披露目されました。

ゆるキャラのデザインは、児童に公募した作品約100点の中から先生方が審査した結果、4年の神郡未実さんの作品が選ばれました。

お父さんから校歌の中にデザインのヒントがあるのではとアドバイスを受けた神郡さんは「校歌に出てくる筑波山を頭に寄せました。みんなで育てているフジバカマを髪の毛にしたのがとても気に入っています」。島田ゆき江校長からは「学校内だけでなく、地域の活動にも協力していきたい。皆さんにかわいがってもらいたい」と話が聞けました。



親子ふれあい集会でお披露目される「ふじ子ちゃん」



砂沼大橋を力走するランナーたち

「第26回砂沼マラソン大会」が11月16日、茨城百景の一つでもある「砂沼」の遊歩道をメインコースに開催され、県内外から1,455人、小学1年から82歳までの幅広い年齢層の市民ランナーが参加しました。

浦安市からスポーツ交流事業で参加した田丸治さん(27歳)は「広報うらやすの募集を見て参加した。このレースに出ることで、下妻市と浦安市の災害時相互応援協定を知った。地域の人たちが応援してくれて、平らなコースにいい記録が出た。来年もぜひ参加したい」と気持ちよく走れたことを喜んでいました。

また、平成27年2月1日に浦安市で開催される「第24回東京ベイ浦安シティマラソン」には、本市から市民ランナー40名がスポーツ交流事業で派遣され、舞浜ホテル群周辺の海岸沿い10キロメートルを力走します。

秋風を受け砂沼湖畔を疾走
第26回砂沼マラソン大会

親子で作って遊んで楽しんで

宗道小学校「ふれあい集会」

宗道小学校で11月9日、蚕飼小学校との統合から初となる「ふれあい集会」が開催され、全校生徒や、その家族など約750人が参加しました。

地区ごとに体育館や各教室を使い、「絵手紙」「バルーンアート」「エコ工作」「手品・マジック」「たこ作り」「指編み」「粘土細工」「おもしろ理科先生」の計8つの教室が開かれました。どの教室も思考を凝らした催しでにぎわい、家族や地域の人々との「ふれあい」で笑顔があふれていました。

蚕飼地区から通う大下遥貴くん(3年)の母・宏美さんからは「蚕飼小学校の時は、子どもが7人のクラスだった。宗道小学校と統合し、当初は不安もあったが、友達が増え、競争心がより一層芽生えて子どもが喜んでいる姿を見ると、親としては良かったと思う」と話が聞けました。



たこ作りに励む参加者(宗道小学校体育館で)

ほっとしrepoライン Hot Repo Line 市民の声

ふれあいいきいきサロン「小友会」の会長として活動する池田静江さん(下妻乙・小野子)からのお便りを紹介します。

私の町内には、「小友会」というサロンがあり、健康長寿を目標に、毎週公民館で交流会をもっている。

地域の皆さんとのふれあいの場、楽しい仲間づくりの場。シルバー体操を柱として、各種の講話、講義等、他に市の行事への参加を重ねて8年目になる。幅広く世代を越えての交流も、またサロンの大きな目的であり、楽しみの一つと思います。そんな中、70代半ばの1さんの心温まる行動に、皆さんより賞賛の声が上がっている。

「ホラ!こうしなきゃ!」「ホラ!これもって!」
身体を支え、杖をとり、一つひとつの面倒をみる。ちょっと介護が必要なAさんを誘導案内する。また、昨年倒れた経緯のあるBさんには、お散歩のおつきあい。

「一人では危なくて見てられないよ!」
横断歩道も手を添える。シルバーカーでの散歩が日課。先の福祉大会の時も介助を受けながらでは

「ともしび」

あるが、大勢の参加を得た。共助の精神が生きる。日常のささいな出来事ではあるが、この「ともしび」が広く、そして大輪になることを期待し、1さんに大きな拍手を送りたい。

また、Kさんなど、今年は体調不良ということで中止してはいるものの、永年境内の清掃ボランティアを重ねてきた。落ち葉の季節や悪天候の後など大変な重労働である。今は60代の男性が引き継いでいるが、一日たりとも休みはない。

他に、町内には防犯や清掃のボランティアに取り組んでいるグループもある。安全かつ清々しい街で生活できることはうれしい限りである。

皆さん、どうかお疲れ様。そして、本当にありがとう。



敬老福祉大会に会員みんなで参加しました(市民文化会館で)



特作花壇の前で記念撮影する七五三詣の参拝者

下妻の秋を彩る菊の競演 第29回下妻市菊まつり

下妻市菊花会の会員が丹精込めた約600鉢の力作が並ぶ「下妻市菊まつり」が11月1~24日まで、大宝八幡宮の境内で開催されました。

県内外から菊の愛好家が訪れたほか、七五三詣の参拝者などでにぎわい、富士山や五重塔などをかたどった特作花壇は記念撮影スポットとして人気を集めていました。

また、同境内で11月16日、新選組の近藤勇などの幹部が学んだことで知られる剣術「天然理心流」の奉納演武が行われました。牛久市にある天然理心流心武館の茨城道場が、道場開設30周年の記念に奉納したもので、日本の文化を伝える真剣を使つての演武に、参観者からは大きな拍手が送られていました。



真剣での演武に見入る参観者

有料広告欄

有料広告欄